

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型 第2期スタートアップ・エコシステム形成支援 新規採択プラットフォームの決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型 第2期スタートアップ・エコシステム形成支援の2025年度募集における採択プラットフォームを決定しました。

本プログラムは、大学から生まれる優れた技術シーズの実用化を目指すアントレプレナーシップ^注を持つ人材の育成を強力に支援し、社会変革や社会課題解決につながる社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築することを目的とします。

本年度の募集は2026年1月8日（木）から2月9日（月）まで行い、3件の応募がありました。外部専門家で構成された委員会による審査を実施し、3件の採択プラットフォームを決定しました（別紙）。

今後、契約などの条件が整い次第、支援を開始する予定です。

事業の詳細は以下ウェブページをご覧ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys2/index.html>

注) アントレプレナーシップ

起業に限らず、新事業創出や社会課題解決に向け、新たな価値創造に取り組む姿勢や発想・能力などを指します。

<添付資料>

別紙：研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型
第2期スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム一覧

参考：研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型
第2期スタートアップ・エコシステム形成支援 概要

<お問い合わせ>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

金山 晋司（カナヤマ シンジ）

E-mail : su-ecosys@jst.go.jp※お問い合わせは電子メールでお願いします。

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
大学・エコシステム推進型 第2期スタートアップ・エコシステム形成支援
採択プラットフォーム一覧

※プラットフォーム名はアルファベット順。申請時の所属・役職を記載。

プラットフォーム名 Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)
主幹機関 【早稲田大学】 ・総括責任者 理事（研究推進部門総括・産学連携）、理工学術院 教授 若尾 真治 ・プログラム代表者 アントレプレナーシップセンター 所長 石井 裕之 【東京大学】 ・総括責任者 執行役・副学長 染谷 隆夫 ・プログラム代表者 産学協創推進本部 副本部長、大学院工学系研究科 教授 和泉 潔 【東京科学大学】 ・総括責任者 理事・副学長（研究・産学官連携担当） 波多野 睦子 ・プログラム代表者 イノベーションデザイン機構 機構長、環境・社会理工学院 教授 辻本 将晴
共同機関 筑波大学、千葉大学、東京農工大学、お茶の水女子大学、神奈川県立保健福祉大学、横浜国立大学、横浜市立大学、慶應義塾大学、芝浦工業大学、東京都立大学、東京理科大学、茨城大学、上智大学、東海大学、中央大学、渋谷スクランブルスクエア株式会社、一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン、CIC Japan Innovation Services 合同会社
幹事自治体 東京都、横浜市、川崎市、つくば市、茨城県、港区
全体概要 GTIE では、才気あふれる若手が集う東京圏において、自ら課題を発見し解決へ挑む“変革の核”となる人材を育成し、その核からの連鎖的な広がりによって、社会の新たな標準を創出する人材主導のエコシステムの形成を目標とする。まずは、参画機関の学生に対してさまざまなアントレプレナーシップ教育プログラムを提供し、起業に必要なスキルや人脈の獲得を促進するとともに、高い志を持つ学生が集い交わる機会を設け、失敗を恐れずに挑戦を続ける起業家の輩出を目指す。また、世界に伍するスタートアップの育成を目指し、海外派遣プログラムによって、学生

に海外のエコシステムに触れる機会を提供する。新たに教育プログラム受講者のためのアルムナイ・コミュニティー^{注)}を構築し、GTIE への帰属意識を醸成することで、エコシステム形成の原動力とする。教育プログラムの実施とあわせて、エコシステム形成を促進するために、共創型の体制を構築する。新たに教育プログラムごとのワーキンググループを設置することで、主幹機関と共同機関が一体となって GTIE の発展に取り組む体制とする。

注) アルムナイ・コミュニティー

教育プログラムなどの修了者・卒業生（アルムナイ）によって構成される、継続的な交流、情報共有、相互支援などを目的としたネットワーク。

プラットフォーム名 関西スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC)
主幹機関 【京都大学】 ・総括責任者 理事（産官学連携担当） 澤田 拓子 ・プログラム代表者 副理事（社会連携・イノベーション推進担当）・成長戦略本部 本部長 室田 浩司
共同機関 大阪大学、神戸大学、大阪公立大学、大阪工業大学、関西大学、近畿大学、京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学、立命館大学、同志社大学、龍谷大学、京都先端科学大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学、兵庫県立大学、関西学院大学、滋賀大学、滋賀医科大学、甲南大学、京都産業大学、奈良県立大学、大阪産業局
幹事自治体 大阪府、大阪市、京都府、京都市、兵庫県、神戸市
全体概要 KSAC では、大学発ディープテック・スタートアップ創出を加速する実装志向型アントレプレナーシップ教育基盤を強化する。複数大学の教職員が共同で開発・運営し、学生が大学横断で受講するインターカレッジ型教育を拡充することで、専門分野や価値観を超えた学びを実現し、KSAC 全体を一つの教育基盤として機能させる「イノベーション・マルチバーシティ」を形成する。カリキュラムマップに基づき、発想段階から事業化までを段階的に支援し、GAP ファンドと連携して質の高い申請案件を創出する。特に博士課程人材の事業化力を強化し、グローバル展開を視野に入れた「高さ」のあるスタートアップ創出につなげる。課題解決型学習（PBL）を通じた強い内在的動機、課題設定力と協働力を持つ人材育成がこれらの事業化展開の基盤となる。さらに高校段階からの教育接続を進め、裾野拡大と高度化を両立し、研究成果の社会実装を担うディープテック・スタートアップ創出基盤の形成に貢献する。

プラットフォーム名 Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)
主幹機関 【名古屋大学】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括責任者 東海国立大学機構 機構長 松尾 清一 ・ プログラム代表者 副総長・学術研究・産学官連携推進本部長 佐宗 章弘
共同機関 豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学、名城大学、中京大学、藤田医科大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、愛知県立芸術大学、椙山女学園大学、愛知県立大学、静岡大学、浜松医科大学、南山大学、豊田工業大学、金城学院大学、中部大学、静岡理工科大学、静岡県立大学、日本福祉大学、静岡社会健康医学大学院大学
幹事自治体 名古屋市、愛知県、三重県、静岡県、浜松市
全体概要 Tongali では、アントレプレナーシップ人材育成を拠点都市スタートアップ・エコシステム形成の起点と位置付け、小中高校生から大学生・大学院生、さらには卒業後までを見据えた一貫した人材育成体系の構築に取り組んできた。これまで、教育の裾野拡大と実践的な育成プログラムの高度化を並行して進めることで、大学発スタートアップの創出や、地域で挑戦を担う人材の輩出につなげてきている。本プログラムでは、こうした取り組みを基盤に、「学ぶ人を増やす段階」から「学び・挑戦・次の挑戦へと人材が循環する状態」へと発展させる。高校生段階での内省を通じた意識形成、大学生段階での実践的な学び、大学院生段階での研究成果の社会実装を有機的に接続し、育成された人材が企業や自治体などで再び次の挑戦を支える側へと回る人材の循環を地域に実装することで、挑戦が持続的に生まれる拠点都市スタートアップ・エコシステムの形成を目指す。

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
大学・エコシステム推進型 第2期スタートアップ・エコシステム形成支援 概要

1. 目的・概要

「スタートアップ・エコシステム拠点都市」において中核となる大学・機関に対し、大学等から生まれる優れた技術シーズの実用化を目指すアントレプレナーシップを持つ人材の育成や、高校生などを対象としたアントレプレナーシップの醸成や発揮の機会を提供する教育プログラムの開発と実施を強力的に支援し、社会変革や社会課題解決につながる社会的インパクトの大きいスタートアップの持続的な創出に寄与することを目的とする。

具体的には以下の支援を行う。

- (1) アントレプレナーシップ醸成のための人材育成プログラムの開発・運営など
学生およびシーズを持った若手研究者や企業の若手人材の希望者に対する、アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運用などを行う。
- (2) 拠点都市のエコシステムの形成・発展
プラットフォーム全体として効果的に機能するような仕組みを構築する。

2. 応募対象

スタートアップ・エコシステム拠点都市において中核となる大学・機関を中心とした複数機関の連携によるプラットフォームを募集対象とする。2026年4月時点で大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援の支援を受けているプラットフォームは募集対象外。研究者個人、機関単独は募集対象外。なお、各スタートアップ・エコシステム拠点都市からの申請は1つのみとする（同一の拠点都市から複数のプラットフォームは申請できない）。

3. 支援期間

2026年度5月末頃から2029年度末まで

4. 支援額（上限）

2026年度：1プラットフォームあたり1億9千万円程度／年（直接経費）

2027年度：1プラットフォームあたり1億4千9百万円程度／年（直接経費）

2028・2029年度：1プラットフォームあたり8千3百万円程度／年（直接経費）

以上